

口話法の普及状況

『聾啞の光』第2巻、第4号、手話口話生徒状況調査に記された全国聾啞学校の口話学級創設の時期

							設置校数／累積校数
1918	大正7	和歌山4					1 1
19	8	横浜4					1 2
20	9	日本聾話4	東京小日向台小学校9	愛知4			3 5
24	13	岩手10	長野4 岡山4	佐賀10	鹿児島4		6 11
25	14	札幌7	(官)東京聾啞4	神奈川4	長岡4	長崎7	8 19
26	15	二本松1	茨城9	東京都立聾(大塚)6	大阪聾口話5	下関4	6 25
27	昭和2	青森八戸4	山形7	群馬4	石川4	香川4	5 30
28	3	旭川4	滋賀聾話4	京都4	島根4	愛媛4	内地5+外地1 36
29	4	馬淵5	福井4	高知4	延岡7	*大連10	内地4+外地1 41
30	5	鳥取4					1 42
31	6	*樺太6	青森4	秋田4	埼玉4	千葉5	内地8+外地1 51
32	7	宇都宮4	東京昭和5	大阪市立4			3 54
33	8	宮城4	東京聾啞技芸9				2 56
34	9	東京都立聾啞(品川)4	堺市立4				2 58
35	10	宮崎4					1 59
36	11	大分4					1 60
37	12	室蘭4					1 61
38	13	*総督府済生4					外地1 62
39	14	豊橋4					1 63
42	17	沖縄4					1 64

注：上の他、浜松、*平壤は手話学級のみ、*台南は指文字、函館、福島、手話・口話学級別なし、口話学級なるも始期記入なしが、小樽、山梨、新潟聾口話、富山、静岡、佐世保(全く記入なし) 計11校

上の校名に付した数字は創始の月を示す。

合計75校